

HEAT20 外皮性能グレードと住宅シナリオ (2015年12月改定版)

HEAT20では、平成27年3月に開催した報告会、及び同年3月と5月に出版した「HEAT20 設計ガイドライン（初版、第2刷）」にて、戸建住宅の目指すべき住宅像と推奨する断熱性能水準を「201503案」として提示しました。

その後、各地域における代表的な暖房方式の調査検討・設定のうえ、NEB（冬期間の室内温度環境）及びEB（省エネルギー性能）に関して再度検討致しました。その結果を踏まえ、以下に「HEAT20 G1・G2 断熱性能推奨水準」と「各断熱性能水準別のNEB及びEB（別紙参照）」を提案致します。

永く暮らし続ける住まいづくり、優れた社会資産となり得る住まいづくりに向けて、ご活用いただければ幸いです。

HEAT20 G1・G2 断熱性能推奨水準 外皮平均熱貫流率 U_A 値[W/ (m²・K)]

推奨グレード	地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
HEAT20 G1	0.34	0.34	0.38	0.46	0.48	0.56	0.56	-
HEAT20 G2	0.28	0.28	0.28	0.34	0.34	0.46	0.46	-

日射熱遮蔽性能については、HEAT20では平成25年省エネ基準の基準値を満足することを最低条件として、それ以上の高い水準値を設けておりません。

夏期の日射熱遮蔽と冬期の日射熱取得について、地域に応じたバランスのとれた開口部計画（窓及び付属部材、庇等の日除け等の計画）が必須です。

（参考）平成25年省エネ基準 冷房期の平均日射熱取得率の基準値 η_A 値 [-]

	地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
H25年省エネ基準	-	-	-	-	3.0	2.8	2.7	3.2